

9. 基地と住民生活

本県の県土面積の約 8.2%を占める米軍基地の存在は、航空機騒音や実弾射撃演習による流弾などの事故、その他種々の基地被害が発生して県民の日常生活に少なからず影響を与えている。

本市においても、市面積の約 7.3%を占める基地が存在し、基地に起因する事件、事故等が度々発生して市民に被害と不安を与えている。

このため、市としては、市民の安全とよりよい生活環境を確保する立場から、国、県、米軍等に対する要請等を行い、基地被害の未然防止に努めている。

(1) 航空機騒音

米軍基地から派生する基地被害は多岐にわたり、なかでも嘉手納飛行場からの航空機騒音は、周辺住民の生活環境に重大な悪影響を与えている。

嘉手納飛行場には、F-15 イーグル戦闘機、KC-135R 空中給油機、P-3C オライオン対潜哨戒機等の米軍機が常駐し、エンジン調整やタッチ・アンド・ゴーなどの飛行訓練と合わせて、三沢基地（青森）をはじめとした在日米軍、在韓米軍機、岩国基地及び第 7 艦隊の艦載機も恒常的に飛来し、騒音を間断なく発生させている。

市は、基地周辺住民の意向を踏まえ、騒音を緩和すべく、国に対し学校防音工事、住宅防音工事をはじめとする騒音防止事業の拡大や住宅地上空での航空機の飛行を禁止するよう要請している。

(2) 原子力潜水艦の寄港

勝連半島の先端部に位置するホワイト・ビーチは、神奈川県横須賀市、長崎県佐世保市とともに原子力軍艦の寄港地となっている。

復帰後 628 回（令和 5 年 3 月末現在）原子力軍艦が寄港している。

本市では、原子力軍艦の寄港の際の放射性物質の流失による原子力災害の不安が大きいことから、米国国防総省及び外務省など関係機関に寄港中止を求める抗議・要請を行い、市議会においても、寄港に反対する決議及び意見書を採択し、関係機関に要請している。

なお、復帰後、原子力軍艦の寄港時の放射能測定結果では、現在まで異常は認められていないが、昭和 55 年 3 月のロングビーチ（巡洋艦）の寄港時、晴天時の平均値を上回る放射線量が検出され、当該海域及び周辺海域の魚介類が売れなくなるなどの被害を与え、また、平成 20 年のヒューストン（潜水艦）の冷却水漏れは、地域住民に大きな不安を与えた。

(3) 基地被害

昭和 34 年(1959 年)6 月 30 日に宮森小学校、昭和 36 年 12 月 7 日に川崎地区、昭和 42 年 11 月に栄野比地区に米軍ジェット機が墜落するなど市民の生命、生活及び財産を喪失する甚大な被害を与えた。

また、基地内及び停泊中の艦船からの油や汚水の流失は市民生活や河川及び海域の環境への影響が問題となっている。

その他、軍人、軍属及びその子弟による投石や一歩間違えば重大な事件・事故になりかねない事案が発生するなど、市民の生命、財産及び人権に重大な影響を及ぼしている。

これら以外にも、基地に起因する種々の被害は発生しており、市としても国や米軍に対し、十分な安全対策の確立等を要請するなど、基地被害の未然防止に努めている。

ア 航空機騒音に係る環境基準について

昭和 48 年 12 月 27 日環境庁告示第 154 号

改正 平成 5 年環境庁告示第 91 号

改正 平成 12 年環境庁告示第 78 号

改正 平成 19 年環境庁告示第 114 号

環境基本法（平成 5 年法律第 91 号）第 16 条第 1 項の規定に基づく騒音に係る環境上の条件につき、生活環境を保全し、人の健康の保護に資するうえで維持することが望ましい航空機騒音に係る基準（以下「環境基準」という。）及びその達成期間は、次のとおりとする。

第 1 環境基準

1 環境基準は、地域の類型ごとに次表の基準値の欄に掲げるとおりとし、各類型をあてはめる地域は、都道府県知事が指定する。

地域の類型	基準値
I	57デシベル以下
II	62デシベル以下

（注）

I をあてはめる地域は専ら住居の用に供される地域とし、II をあてはめる地域は I 以外の地域であつて通常の生活を保全する必要がある地域とする。

2 1 の環境基準の基準値は、次の方法により測定・評価した場合における値とする。

- (1) 測定は、原則として連続 7 日間行い、騒音レベルの最大値が暗騒音より 10 デシベル以上大きい航空機騒音について、単発騒音暴露レベル（ L_{AE} ）を計測する。なお、単発騒音暴露レベルの求め方については、日本工業規格 Z 8731 に従うものとする。
- (2) 測定は、屋外で行うものとし、その測定点としては、当該地域の航空機騒音を代表すると認められる地点を選定するものとする。
- (3) 測定時期としては、航空機の飛行状況及び風向等の気象条件を考慮して、測定点における航空機騒音を代表すると認められる時期を選定するものとする。
- (4) 評価は算式アにより 1 日（午前 0 時から午後 12 時まで）ごとの時間帯補正等価騒音レベル（ L_{den} ）を算出し、全測定日の L_{den} について、算式イによりパワー平均を算出するものとする。

算式ア

$$10 \log_{10} \left\{ \frac{T_0}{T} \left(\sum_i 10^{\frac{L_{AE,i}}{10}} + \sum_j 10^{\frac{L_{AE,e,j}+5}{10}} + \sum_k 10^{\frac{L_{AE,n,k}+10}{10}} \right) \right\}$$

（注）

i 、 j 及び k とは、各時間帯で観測標本の i 番目、 j 番目及び k 番目をいい、 $L_{AE,i}$ とは、午前 7 時から午後 7 時までの時間帯における i 番目の L_{AE} 、 $L_{AE,e,j}$ とは、午後 7 時から午後 10 時までの時間帯における j 番目の L_{AE} 、 $L_{AE,n,k}$ とは、午前 0 時から午前 7 時まで及び午後 10 時から午後 12 時までの時間帯における k 番目の L_{AE} をいう。また、 T_0 とは、規準化時間（1 秒）をいい、 T とは、観測 1 日の時間（86,400 秒）をいう。

算式イ

$$10 \log_{10} \left(\frac{1}{N} \sum_i 10^{\frac{L_{den,i}}{10}} \right)$$

（注）

N とは、測定日数をいい、 $L_{den,i}$ とは、測定日のうち i 日目の測定日の L_{den} をいう。

(5) 測定は、計量法（平成 4 年法律第 51 号）第 71 条の条件に合格した騒音計を用いて行うものとする。この場合において、周波数補正回路は A 特性を、動特性は遅い動特性（SLOW）を用いることとする。

3 1 の環境基準は、1 日当たりの離着陸回数が 10 回以下の飛行場であつて、警察、消防及び自衛隊等専用の飛行場並びに離島にある飛行場の周辺地域には適用しないものとする。

第 2 達成期間等

1 環境基準は、公共用飛行場等の周辺地域においては、飛行場の区分ごとに次表の達成期間の欄に掲げる期間で達成され、又は維持されるものとする。この場合において、達成期間が 5 年をこえる地域においては、中期的に同表の改善目標の欄に掲げる目標を達成しつつ、段階的に環境基準が達成されるようにするものとする。

飛行場の区分		達成期間	改善目標
既設飛行場	新設飛行場 第三種空港及びこれに準ずるもの	直ちに	—
	第二種空港(福岡空港を除く。)	A 5年以内	—
	B 成田国際空港	10年以内	5年以内に、70デシベル未満とすること又は70デシベル以上の地域において屋内で50デシベル以下とすること。
	第一種空港(成田国際空港を除く。) 及び福岡空港	10年をこえる期間内に可及的速やかに	1 5年以内に、70デシベル未満とすること又は70デシベル以上の地域において屋内で50デシベル以下とすること。 2 10年以内に、62デシベル未満とすること又は62デシベル以上の地域において屋内で47デシベル以下とすること。

備考

- 1 既設飛行場の区分は、環境基準が定められた日における区分とする。
 - 2 第二種空港のうち、Bとはターボジェット発動機を有する航空機が定期航空運送事業として離着陸するものをいい、AとはBを除くものをいう。
 - 3 達成期間の欄に掲げる期間及び各改善目標を達成するための期間は、環境基準が定められた日から起算する。
- 2 自衛隊等が使用する飛行場の周辺地域においては、平均的な離着陸回数及び機種並びに人家の密集度を勘案し、当該飛行場と類似の条件にある前項の表の飛行場の区分に準じて環境基準が達成され、又は維持されるように努めるものとする。
- 3 航空機騒音の防止のための施策を総合的に講じて、1の達成期間で環境基準を達成することが困難と考えられる地域においては、当該地域に引き続き居住を希望する者に対し家屋の防音工事を行うことにより環境基準が達成された場合と同等の屋内環境が保持されるようにするとともに、極力環境基準の速やかな達成を期するものとする。

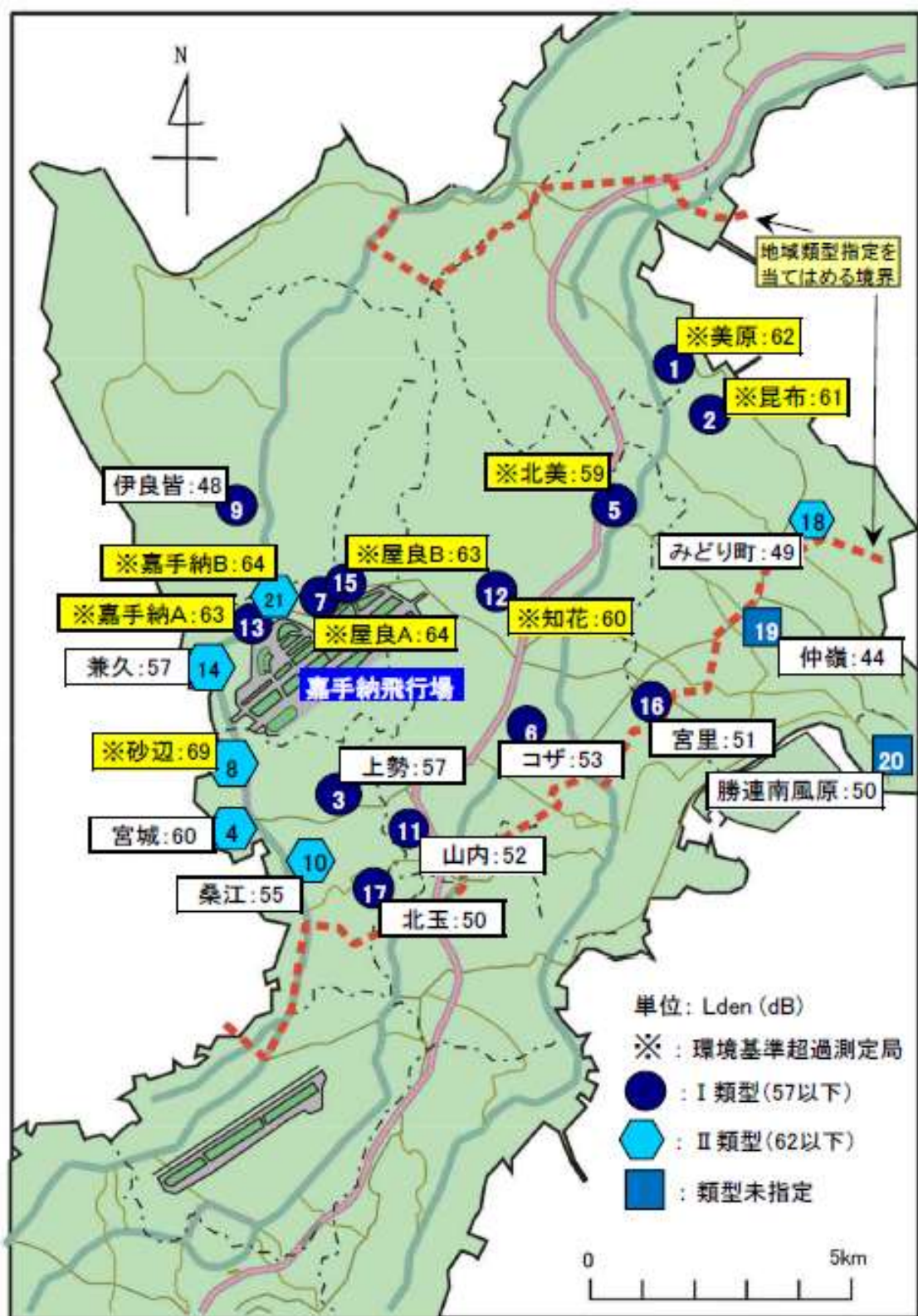
イ 航空機騒音による影響

騒音とは

音は「大気の微小な圧力の変化が音速で伝わる」という物理現象です。音の基本的な性質は、音の強さを表すd B（デシベル）と音の高低を表すH z（ヘルツ）によって決まります。人間は、一般に20～20,000H zの音を聞くことができるといわれています。これらの音のなかで「不快に感じる音」が騒音です。人間の聴感には音の強さや高低などによって異なります。

音の大きさと影響の目安

音の大きさ (デシベル)	音響例	音の例	生活騒音例
30		深夜の静かな住宅地・ささやき声	
40		昼間の静かな住宅地・図書館	
50		静かな事務所	エアコン室外機
60	睡眠妨害	静かな乗用車の中・普通の会話	テレビ・車のアイドリング
70	計算力の低下	騒々しい事務所・電話のベル	ステレオ
80	集中力の低下	地下鉄の車内	ピアノ
90	作業量の減少	騒々しい工場の中	犬の鳴き声
100	難聴	電車がとおるときのガード下	
110	難聴	ヘリコプターのそば	
120	難聴	飛行機のエンジンの近く	



図K1 嘉手納飛行場周辺における航空機騒音測定結果

表1 航空機騒音測定結果の概要（嘉手納）

測定地点		環境基準値		測定期間内 平均 Lden(dB)	一日あたりの 騒音発生回数	最大ピークレベル (dB)	一日あたりの騒 音継続累積時間	測定期間	測定日数
No.	測定局名	類型	Lden(dB)						
1	美原	I	57	62 (63)	40.7 (46.8)	106.0 (110.2)	11分46秒	R5.4.1～R6.3.31	365
2	昆布	I	57	61 (60)	30.1 (29.8)	105.1 (105.4)	10分56秒	R5.4.1～R6.3.31	366
3	上勢	I	57	57 (55)	40.0 (41.7)	104.0 (104.6)	11分38秒	R5.4.1～R6.3.31	365
4	宮城	II	62	60 (58)	54.9 (58.8)	106.2 (111.6)	16分10秒	R5.4.1～R6.3.31	366
5	北美	I	57	59 (57)	27.8 (27.2)	106.1 (103.1)	9分32秒	R5.4.1～R6.3.31	363
6	コザ	I	57	53 (48)	26.5 (28.7)	104.9 (103.1)	7分43秒	R5.4.1～R6.3.31	363
7	屋良A	I	57	64 (61)	65.4 (66.4)	107.0 (105.2)	17分31秒	R5.4.1～R6.3.31	366
8	砂辺	II	62	69 (69)	51.8 (53.9)	116.2 (117.9)	12分19秒	R5.4.1～R6.3.31	366
9	伊良皆	I	57	48 (48)	23.5 (23.6)	95.5 (96.3)	6分49秒	R5.4.1～R6.3.31	365
10	桑江	II	62	55 (54)	15.3 (15.0)	103.0 (104.9)	3分51秒	R5.4.1～R6.3.31	366
11	山内	I	57	52 (50)	35.9 (28.7)	104.2 (103.8)	10分31秒	R5.4.1～R6.3.31	363
12	知花	I	57	60 (59)	51.6 (41.3)	112.7 (104.8)	15分56秒	R5.4.1～R6.3.31	366
13	嘉手納A	I	57	63 (60)	38.1 (38.5)	104.6 (100.3)	15分39秒	R5.4.1～R6.3.31	364
14	兼久	II	62	57 (57)	23.4 (24.7)	103.1 (102.4)	7分55秒	R5.4.1～R6.3.31	359
15	屋良B	I	57	63 (61)	34.1 (37.8)	106.3 (102.9)	8分44秒	R5.4.1～R6.3.31	366
16	宮里	I	57	51 (44)	23.6 (22.4)	109.0 (104.1)	9分2秒	R5.4.1～R6.3.31	354
17	北玉	I	57	50 (48)	23.2 (20.7)	105.5 (103.5)	5分34秒	R5.4.1～R6.3.31	366
18	みどり町	II	62	49 (46)	5.5 (4.7)	102.5 (96.0)	3分15秒	R5.4.1～R6.3.31	365
19	仲嶺	—	—	44 (43)	4.0 (3.2)	97.6 (96.7)	1分44秒	R5.4.1～R6.3.31	365
20	勝連南風原	—	—	50 (50)	7.1 (7.3)	94.7 (92.7)	2分27秒	R5.4.1～R6.3.31	365
21	嘉手納B	II	62	64 (63)	44.7 (45.2)	106.00 (102.7)	20分58秒	R5.4.1～R6.3.31	360

※ 測定期間内平均Ldenの下線付きの値は環境基準値超過を示す。

※ 表中の（ ）内の数値は前年度（令和4年度）の値を示す。

※ 常時測定局のうち測定日数が（365日又は366日）に満たないものは、停電や機器の故障もしくは台風等による欠測などの理由による。

※ 桑江局は、都市計画法の用途地域が定められていない地域であったため類型Ⅰとしていたが、現在は第2種住居地域に指定されているため、令和2年度から類型Ⅱへ変更している。

※ 兼久局は設置場所を移設し、令和5年7月から同設置場所での測定を開始している。

【資料】沖縄県環境部環境保全課 令和5年度航空機騒音測定結果

表2 曜日別の騒音発生回数（嘉手納）

(回/日)

測定地点	年度	日	月	火	水	木	金	土
1 美原	R 4	28.3	48.6	55.1	57.3	56.5	49.2	32.6
	R 5	22.6	41.3	48.8	51.6	55.4	41.0	24.9
2 昆布	R 4	13.1	33.3	35.6	39.8	39.1	32.1	15.7
	R 5	14.1	31.9	37.3	40.5	41.3	30.0	16.2
3 上勢	R 4	14.5	50.1	62.1	66.4	59.1	44.3	16.8
	R 5	17.9	46.7	53.1	57.9	61.6	44.8	20.6
4 宮城	R 4	20.3	65.4	81.3	85.1	77.6	59.8	27.4
	R 5	17.3	59.7	74.7	75.4	77.6	57.2	23.9
5 北美	R 4	9.5	31.3	36.5	39.1	36.4	25.8	11.4
	R 5	10.1	29.3	34.8	41.6	38.5	30.3	11.6
6 コザ	R 4	8.3	31.8	41.3	48.6	44.3	27.9	8.6
	R 5	7.1	32.2	40.5	44.7	43.0	30.4	9.3
7 屋良A	R 4	22.5	77.0	87.2	95.1	87.6	70.2	29.6
	R 5	27.1	75.5	84.2	87.4	88.1	64.0	34.5
8 砂辺	R 4	14.3	62.4	72.5	80.4	73.9	53.9	20.1
	R 5	18.1	57.2	68.9	71.8	70.9	52.9	23.6
9 伊良皆	R 4	3.4	28.0	32.8	38.1	33.8	23.3	5.8
	R 5	3.4	28.5	32.6	34.9	35.7	23.3	6.8
10 桑江	R 4	1.5	16.4	23.3	26.5	23.1	12.5	1.9
	R 5	1.6	16.7	25.4	24.2	22.4	14.8	2.7
11 山内	R 4	5.1	31.4	40.0	48.0	41.8	28.2	6.4
	R 5	7.0	40.0	51.3	54.9	53.0	38.7	8.1
12 知花	R 4	11.9	47.8	54.4	62.3	54.3	43.3	15.1
	R 5	18.8	58.7	68.3	73.1	71.8	51.5	20.2
13 嘉手納A	R 4	6.6	45.9	52.2	63.2	59.1	35.5	7.3
	R 5	5.6	46.7	52.7	60.7	54.9	38.3	8.3
14 兼久	R 4	2.4	28.8	35.7	40.5	38.5	23.5	3.2
	R 5	1.4	28.7	35.0	38.2	34.9	22.9	3.6
15 屋良B	R 4	4.8	46.4	53.1	61.9	54.0	37.5	7.0
	R 5	3.8	42.3	48.9	53.4	50.1	34.0	7.0
16 宮里	R 4	9.3	21.3	29.5	34.8	29.8	20.7	11.5
	R 5	11.5	23.9	34.2	34.3	30.5	21.0	9.9
17 北玉	R 4	3.6	21.4	29.8	34.8	30.5	18.0	6.4
	R 5	5.3	23.4	35.3	35.0	33.8	24.1	6.3
18 みどり町	R 4	1.1	6.2	6.3	8.0	7.0	2.9	1.4
	R 5	1.5	7.0	7.6	8.2	7.9	4.7	1.9
19 仲嶺	R 4	1.2	3.5	3.7	6.5	4.1	1.8	1.5
	R 5	1.6	4.8	5.1	6.4	5.5	3.4	1.5
20 勝連南風原	R 4	1.2	5.0	11.5	12.4	12.1	6.7	2.2
	R 5	2.6	4.1	11.7	10.0	12.9	6.4	2.5
21 嘉手納B	R 4	8.3	53.3	61.5	72.5	67.0	43.4	10.4
	R 5	7.6	54.8	59.8	70.2	64.8	44.9	11.6

※R 4 年度：みどり町、仲嶺局、勝連南風原局は欠損率が約17％であり、不確かさが高いことに留意する必要がある。

※兼久局は設置場所を移転し、令和5年7月から同設置場所で測定開始

【資料】沖縄県環境部環境保全課 令和5年度航空機騒音測定結果

表3 時間帯別の月平均騒音発生回数（嘉手納）

(回) / (日)

測定局	時間	N 1 (00~07)		N 2 (07~19)		N 3 (19~22)		N 4 (22~24)		終日
	年度	回数	比率	回数	比率	回数	比率	回数	比率	回数
1 美 原	R 4	45.6	3.2%	1132.2	79.5%	198.0	3.4%	47.7	3.4%	1423.6
	R 5	51.8	4.2%	1000.0	80.6%	148.6	3.3%	40.5	3.3%	1240.9
2 昆 布	R 4	40.8	4.5%	758.9	83.7%	82.5	2.8%	25.1	2.8%	907.3
	R 5	44.5	4.8%	771.7	84.1%	75.7	2.9%	26.3	2.9%	918.1
3 上 勢	R 4	21.8	1.7%	1076.0	84.9%	139.3	2.4%	30.8	2.4%	1267.9
	R 5	35.4	2.9%	1053.7	86.4%	107.0	1.9%	23.1	1.9%	1219.2
4 宮 城	R 4	35.9	2.0%	1500.6	83.9%	211.7	2.2%	39.9	2.2%	1788.2
	R 5	46.5	2.8%	1433.9	85.6%	160.0	2.1%	34.7	2.1%	1675.1
5 北 美	R 4	40.1	4.9%	685.4	83.0%	75.1	3.1%	25.4	3.1%	826.0
	R 5	42.3	5.0%	716.5	84.4%	67.0	2.8%	23.5	2.8%	849.4
6 コザ	R 4	18.8	2.2%	764.3	87.5%	73.5	1.9%	16.9	1.9%	873.5
	R 5	15.1	1.9%	730.1	90.5%	50.8	1.4%	11.0	1.4%	807.0
7 屋良A	R 4	95.9	4.7%	1645.4	81.5%	214.7	3.2%	64.8	3.2%	2020.1
	R 5	118.0	5.9%	1594.1	79.9%	211.5	3.6%	72.1	3.6%	1995.7
8 砂 辺	R 4	38.0	2.3%	1372.6	83.7%	189.2	2.5%	40.5	2.5%	1640.3
	R 5	47.7	3.0%	1333.5	84.5%	160.8	2.3%	36.5	2.3%	1578.4
9 伊良皆	R 4	18.5	2.6%	618.0	86.2%	68.4	1.7%	12.4	1.7%	717.3
	R 5	22.6	3.2%	630.1	88.0%	51.5	1.6%	11.5	1.6%	715.8
10 桑 江	R 4	2.8	0.6%	415.3	90.9%	33.6	1.1%	4.9	1.1%	456.7
	R 5	10.2	2.2%	425.9	91.1%	26.8	0.9%	4.4	0.9%	467.3
11 山 内	R 4	16.9	1.9%	772.6	88.5%	66.8	1.9%	16.4	1.9%	872.8
	R 5	24.0	2.2%	988.6	90.3%	65.0	1.5%	16.8	1.5%	1094.5
12 知 花	R 4	35.9	2.9%	1095.9	87.2%	103.2	1.7%	21.2	1.7%	1256.2
	R 5	46.8	3.0%	1401.8	89.1%	99.3	1.6%	25.8	1.6%	1573.7
13 嘉手納A	R 4	38.9	3.3%	982.4	83.8%	113.2	3.2%	37.6	3.2%	1172.1
	R 5	42.7	3.7%	995.7	85.8%	83.7	3.3%	38.8	3.3%	1160.9
14 兼 久	R 4	10.3	1.4%	670.8	89.4%	56.6	1.6%	12.3	1.6%	750.0
	R 5	7.9	1.1%	656.6	91.8%	41.5	1.2%	8.9	1.2%	714.9
15 屋良B	R 4	30.0	2.6%	1005.6	87.5%	91.4	2.0%	22.8	2.0%	1149.8
	R 5	23.3	2.2%	941.9	90.7%	55.8	1.7%	17.9	1.7%	1038.9
16 宮里	R 4	12.9	1.9%	552.4	81.0%	93.3	3.4%	23.2	3.4%	681.8
	R 5	21.8	3.0%	593.6	82.5%	79.7	3.4%	24.1	3.4%	719.2
17 北玉	R 4	6.4	1.0%	550.3	87.2%	62.5	1.8%	11.7	1.8%	630.9
	R 5	11.8	1.7%	630.5	89.0%	55.3	1.5%	10.6	1.5%	708.2
18 みどり町	R 4	3.2	2.2%	125.4	87.6%	11.5	2.0%	2.9	2.0%	143.0
	R 5	4.0	2.4%	153.0	90.9%	8.9	1.4%	2.4	1.4%	168.3
19 仲嶺	R 4	2.5	2.6%	81.3	83.8%	9.5	3.8%	3.7	3.8%	97.1
	R 5	3.4	2.8%	108.2	88.4%	8.4	1.9%	2.3	1.9%	122.4
20 勝連南風原	R 4	3.5	1.6%	185.5	83.4%	28.1	2.4%	5.4	2.0%	222.6
	R 5	2.9	1.3%	184.0	84.7%	25.7	2.2%	4.7	2.2%	217.3
21 嘉手納B	R 4	57.6	4.2%	1117.3	81.3%	138.0	4.5%	61.6	4.5%	1374.5
	R 5	54.6	4.0%	1141.1	83.8%	103.4	4.6%	63.0	4.6%	1362.2

※R4年度：みどり町局、仲嶺局、勝連南風原局は欠損率が約17%であり、不確かさが高い事に留意する必要がある。

※兼久局は設置場所を移設し、令和5年7月から同設置場所にて測定開始。

※本表における時間帯別月平均騒音発生回数の算出方法

$$\text{観測された時間帯別騒音発生回数の年間合計 (回/年)} \times \frac{365 \text{ (日/年)}}{\text{観測日数 (日/年)}} \div 12 \text{ (月/年)}$$

表4 1日ごとのLdenが57db又は62dbを超過した日数（嘉手納）

	1■	2■	3■	4□	5■	6■	7■	8□	9■	10□	11■	12■	13■	14□	15■	16■	17■	18□	21□
	美原	昆布	上勢	宮城	北美	コザ	屋良A	砂辺	伊良皆	桑江	山内	知花	嘉手納A	兼久	屋良B	宮里	北玉	みどり町	嘉手納B
測定日数	365	366	365	366	363	363	366	366	365	366	363	366	364	359	366	354	366	365	360
達成日数	138	185	244	308	190	333	141	159	364	359	340	182	148	330	151	346	357	364	165
超過日数	227	181	121	58	173	30	225	207	1	7	23	184	216	29	215	8	9	1	195
超過率	62.2%	49.5%	33.2%	15.8.0%	47.7%	8.3%	61.5%	56.6%	0.3%	1.9%	6.3%	50.3%	59.3%	8.1%	58.7%	2.3%	2.5%	0.3%	54.2%

※■がついた測定局は57dB、□が付いた測定局は62dBを超えた日数

※No. 19仲嶺局、No. 20勝連南風原局は、類型未指定のため省略。

※No. 10桑江局は令和2年度から地域類型Ⅰ（基準値57dB）→Ⅱ（基準値62dB）へ変更。

※兼久局は設置場所を移設し、令和5年7月から同設置場所にて測定開始。

【資料】沖縄県環境部環境保全課 令和5年度航空機騒音測定結果

ウ 原子力軍艦の寄港状況

回数	寄港年	寄港月日	艦船名 (年別寄港回数・隻数)	排水量(t)	全長(m)	乗員(人)	停泊時間	備考
	平成31年・令和元年		26回・26隻					
591		4月17日	アナポリス	6,000	109.7	138	18分	沖合停泊
592		4月21日	アナポリス	6,000	109.7	138	12分	沖合停泊
593		4月21日	アナポリス	6,000	109.7	138	8分	沖合停泊
594		4月30日	オクラホマシティ	6,000	109.7	138	7分	沖合停泊
595		5月16日	イリノイ	7,800	114.9	138	12分	沖合停泊
596		6月5日	イリノイ	7,800	114.9	138	27分	沖合停泊
597		8月14日	アナポリス	6,000	109.7	138	30分	沖合停泊
598		10月27日	ミシシッピ	7,800	114.9	138	1時間30分	沖合停泊
599		11月23日	ミシシッピ	7,800	114.9	138	22分	沖合停泊
600		11月26日	ミシシッピ	7,800	114.9	138	26分	沖合停泊
	令和2年		26回・26隻					
601		1月12日	ハンプトン	6,000	109.7	138	1時間3分	沖合停泊
602		2月15日	キー・ウエスト	6,000	109.7	138	21分	沖合停泊
603		2月23日	キー・ウエスト	6,000	109.7	138	25分	沖合停泊
604		12月10日	スクラントン	6,000	109.7	138	1時間53分	沖合停泊
	令和3年		9回・9隻					
605		2月2日	オハイオ	16,764	170.7	138	15分	沖合停泊
606		3月17日	アナポリス	6,000	109.7	138	3時間2分	沖合停泊
607		4月28日	イリノイ	7,800	114.9	138	11分	沖合停泊
608		6月24日	イリノイ	7,800	114.9	138	3時間11分	沖合停泊
609		7月7日	オクラホマシティ	6,000	109.7	138	8分	沖合停泊
610		7月28日	ジェファーソンシティ	6,000	109.7	138	18分	沖合停泊
611		7月29日	オクラホマシティ	6,000	109.7	138	23分	沖合停泊
612		8月23日	ジェファーソンシティ	6,000	109.7	138	23分	沖合停泊
613		12月17日	ミズーリ	7,800	114.9	138	22分	沖合停泊
	令和4年		13回・13隻					
614		4月13日	アッシュヴィル	6,000	109.7	138	11分	沖合停泊
615		5月13日	アナポリス	6,000	109.7	138	9分	沖合停泊
616		5月16日	アナポリス	6,000	109.7	138	12分	沖合停泊
617		6月25日	アッシュヴィル	6,000	109.7	138	41分	沖合停泊
618		7月4日	シカゴ	6,082	109.7	138	15分	沖合停泊
619		7月22日	スクラントン	6,082	109.7	138	13分	沖合停泊
620		9月30日	シカゴ	6,082	109.7	138	16分	沖合停泊
621		10月4日	キー・ウエスト	6,082	109.7	138	1時間2分	沖合停泊
622		10月8日	アナポリス	6,000	109.7	138	8分	沖合停泊
623		11月10日	ミシガン	16,764	170.7	138	44分	沖合停泊
624		11月22日	スプリングフィールド	6,000	109.7	138	9分	沖合停泊
625		12月28日	スプリングフィールド	6,000	109.7	138	50分	沖合停泊
626		12月30日	ジャファーソンシティ	6,082	109.7	138	1時間9分	沖合停泊
	令和5年		26回・26隻					
627		1月26日	ハンプトン	6,000	109.7	138	6時間56分	接岸
628		3月31日	アッシュヴィル	6,000	109.7	138	6分	沖合停泊
629		4月4日	イリノイ	7,800	114.9	138	17分	沖合停泊
630		4月6日	イリノイ	7,800	114.9	138	1時間9分	沖合停泊
631		5月16日	コロンビア	6,087	109.7	138	7分	沖合停泊
632		5月23日	コロンビア	6,087	109.7	138	1時間27分	沖合停泊
633		6月5日	スプリングフィールド	6,000	109.7	138	29分	沖合停泊
634		6月7日	アナポリス	6,000	109.7	138	10分	沖合停泊
635		6月13日	ミシガン	16,764	170.7	158	57分	沖合停泊
636		8月9日	サンタフェ	6,082	109.7	138	11分	沖合停泊
637		9月11日	ノース・カロライナ	7,800	114.9	138	25分	沖合停泊
638		9月21日	サンタフェ	6,082	109.7	138	23分	沖合停泊
639		9月21日	トピーカ	6,082	109.7	138	1時間7分	沖合停泊
640		9月24日	サンタフェ	6,082	109.7	138	51分	沖合停泊
641		11月16日	トピーカ	6,082	109.7	138	47分	沖合停泊
642		11月28日	ノース・カロライナ	7,800	114.9	138	16分	沖合停泊
643		12月1日	サンタフェ	6,082	109.7	138	8分	沖合停泊
644		12月1日	サンタフェ	6,082	109.7	138	20時間37分	接岸
645		12月2日	ミズーリ	7,800	114.9	138	9分	沖合停泊
646		12月13日	ミズーリ	7,800	114.9	138	23分	沖合停泊

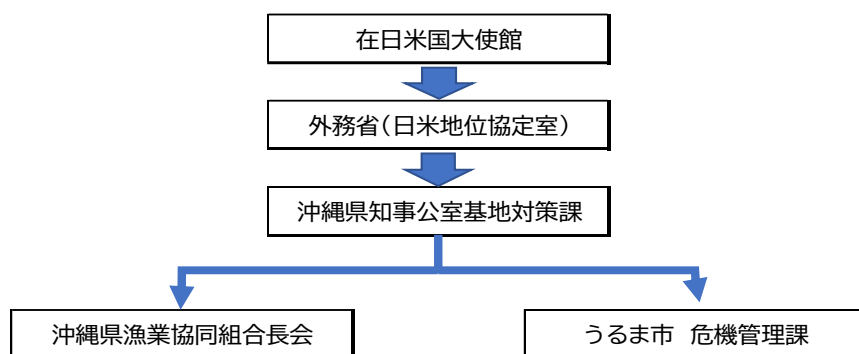
エ 原子力軍艦寄港に関する通報体制について

原子力軍艦の寄港については「合衆国海軍は、通常、受入国政府の当局に対し、少なくとも 24 時間前に、その原子力軍艦の到着予定時刻及び碇泊又は投錨の予定位置につき通報する。」ことになっている。

ホワイト・ビーチ地区へ寄港する米国原子力軍艦に起因する放射能漏れの応急措置については、沖縄県地域防災計画において「放射能災害応急対策計画」が新設され、原子力軍艦災害対策の実施機関、非常時の通報、応急措置及び米軍との連携などの「原子力軍艦災害対策」が規定されている。

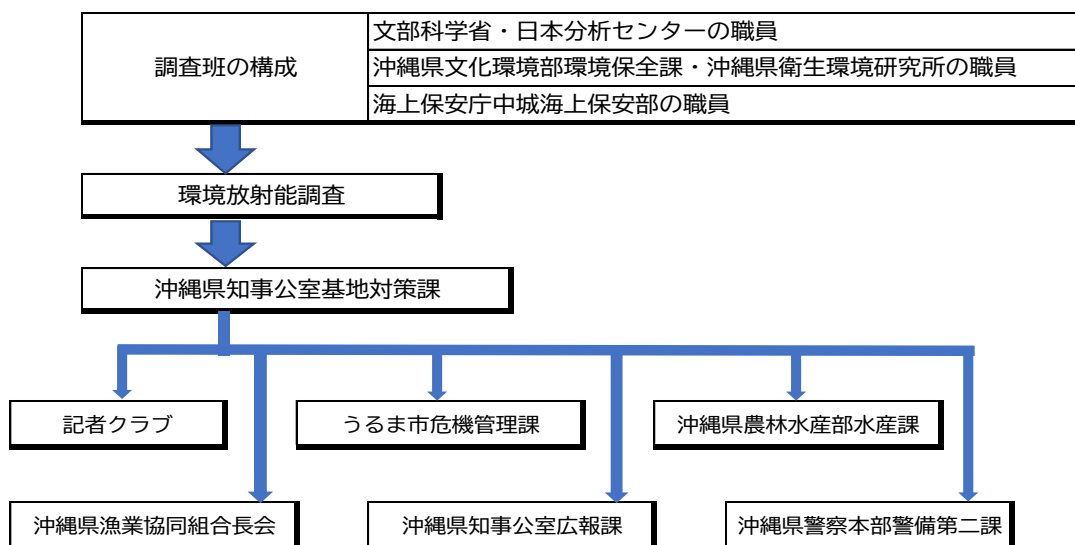
うるま市地域防災計画においても「原子力災害応急対策計画」が定められ、組織体制、応急措置、災害情報の収集・連絡等について規定されている。

① 寄港通報の流れ



※寄港通報については、平成13年9月に米国で発生した同時多発テロへの対応として、当面の間、公表を控えて頂きたい旨の国の要請を受け、平成13年9月21日以来、マスコミ等への公表を控えている。

② 放射能監視測定結果の流れ



【資料】：沖縄県知事公室基地対策課「沖縄の米軍基地」

才 米軍構成員等の犯罪検挙状況（沖縄県内）

		凶悪犯	粗暴犯	窃盗犯	知能犯	風俗班	その他	総数
平成11年	件数	3	7	22	2	1	13	48
	人数	4	7	31	4	1	12	59
平成12年	件数	4	6	26	－	3	14	53
	人数	4	7	38	－	2	16	67
平成13年	件数	4	6	37	5	2	16	70
	人数	4	7	41	3	2	15	72
平成14年	件数	2	11	41	4	2	21	81
	人数	4	10	45	7	2	32	100
平成15年	件数	7	11	48	11	4	31	112
	人数	12	13	62	8	4	34	133
平成16年	件数	1	12	23	3	4	16	59
	人数	1	11	29	5	3	23	72
平成17年	件数	2	7	28	7	1	21	66
	人数	4	7	28	5	1	20	65
平成18年	件数	3	10	21	9	－	14	57
	人数	5	12	27	5	－	14	63
平成19年	件数	6	2	27	14	－	14	63
	人数	6	3	25	3	－	9	46
平成20年	件数	7	5	14	20	1	23	70
	人数	13	6	15	5	1	23	63
平成21年	件数	3	13	17	1	0	16	50
	人数	4	15	17	1	0	13	50
平成22年	件数	2	11	32	4	2	20	71
	人数	5	9	31	4	2	20	71
平成23年	件数	4	2	13	0	0	23	42
	人数	6	3	16	0	0	26	51
平成24年	件数	2	6	12	2	3	29	54
	人数	2	6	19	1	3	23	54
平成25年	件数	－	5	15	－	1	11	32
	人数	－	7	20	－	1	10	38
平成26年	件数	1	4	15	－	1	8	29
	人数	1	4	14	－	1	7	27
平成27年	件数	3	8	14	－	－	9	34
	人数	4	9	20	－	－	9	42
平成28年	件数	2	5	11	－	－	5	23
	人数	2	7	15	－	－	4	28
平成29年	件数	4	8	18	13	2	3	48
	人数	4	8	16	3	2	3	36
平成30年	件数	0	6	16	2	0	7	31
	人数	0	6	18	2	0	6	32
平成31年 (令和元年)	件数	－	2	9	4	1	15	31
	人数	－	2	8	2	1	15	28
令和2年	件数	2	10	13	1	1	12	39
	人数	3	8	14	1	1	8	35
令和3年	件数	2	1	25	－	3	10	41
	人数	7	2	23	－	3	9	44
令和4年	件数	0	9	14	15	1	15	54
	人数	0	9	17	3	1	16	46
令和5年	件数	2	5	31	0	1	33	72
	人数	2	5	27	0	1	25	60

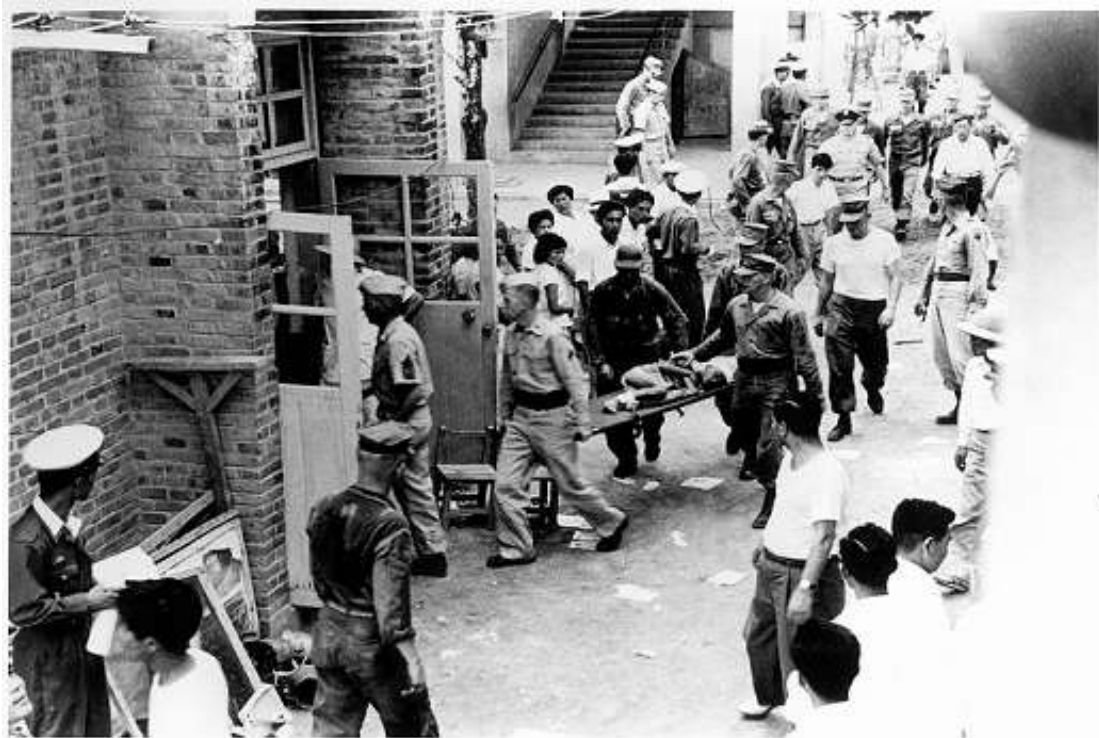
【資料】：沖縄県警察 犯罪統計書

キ ジェット機墜落事故

昭和 34 年(1959 年)6 月 30 日午前 10 時 30 分、訓練中の嘉手納空軍所属のジェット戦闘機が宮森小学校に墜落、死者 17 人（内学童 11 人）、負傷者 210 人（内学童 156 人）、財産損壊 65 件の甚大な被害をもたらした。



墜落現場（旧 6 区）市民総出で救援活動に当たっている。 昭和 34 年（1959）



大火傷をして担架で救急室に運ばれる児童の痛々しい姿 昭和 34 年（1959）



犠牲者の合同慰霊祭 宮森小学校（17 柱） 昭和 34（1959）年 7 月 27 日

ク うるま市の主な基地被害状況

No.	発生年月日	関連施設名等	被害を受けた地域	事件事故の種類	概要
1	昭和30年9月3日		石川市	幼女誘拐・暴行・殺人	幼女が誘拐暴行され、殺害される。
2	昭和34年6月30日		石川市	墜落事故	宮森小学校に米軍嘉手納基地所属ジェット機が墜落。死者17名(学童11人)、人身傷害210名(学童156人)、財産損害65件の被害をもたらす。
3	昭和36年5月	キャンプ・コートニー	川崎	墜落事故	川崎小学校近くにヘリコプターが墜落、死者2人、重傷5人
4	昭和36年12月7日	嘉手納飛行場	川崎	墜落事故	嘉手納航空隊所属ジェット戦闘機が川崎に墜落し爆発する。死者2人、重傷3人、軽傷4人の被害を出す。
5	昭和42年8月		栄野比	ひき逃げ	米軍人の運転する車両が前原高等学校生をひき逃げする事件が起こる。
6	昭和42年11月	嘉手納飛行場	栄野比	墜落事故	ジェット戦闘機が栄野比地内に墜落
7	昭和45年5月	平良川通信所	上江洲	殺傷事件	白屋、米軍人による前原高等学校女子生徒暴行殺傷事件
8	昭和46年1～8月	天願棧橋	昆布	毒ガス移送	嘉手納弾薬庫地区から毒ガスを移送、天願棧橋からジョンストン島へ運び出される。
9	昭和49年2月12日	キャンプ・コートニー	昆布	廃油による河川の汚染	キャンプ・コートニーのモータープールから多量の廃油が流出し、天願川を汚染した。
10	昭和51年7月7日	天願棧橋		海域汚染	棧橋に停泊している米海軍のチャーター船から多量の煤煙が排出、金武湾一帯の海域を汚染した。
11	昭和51年9月18日	陸軍貯油施設	昆布	油及び廃液の流出	9月18日から20日にわたって天願タンクファーム内から油及びパイプライン洗浄液の流出事故が発生した。事故原因はパイプの洗浄作業中、廃液を流出させたことと、軍の作業員が貯油タンクの油を油送する際にドレインバルブを締め忘れたまま送油したため油が逆流し、油水分離装置からオーバーフローしたものである。この事故で農作物が被害を受けるとともに天願川が汚染された。
12	昭和52年3月8日	普天間飛行場	豊原	緊急着陸	普天間飛行場367軽ヘリ中隊所属UH-1Nヘリコプターが機体の安全確認のため豊原の畑に緊急着陸した。
13	昭和53年5月22日	天願棧橋	昆布	弾薬輸送船で発煙騒ぎ	天願棧橋に停泊中の弾薬輸送船アメリカンライアンス号(11,000t)の第2ハッチから煙が出たとして弾薬の爆発を恐れた日本人従業員が避難するという事件が発生した。
14	昭和53年5月26日	キャンプ・コートニー	具志川市～宜野湾市	風防ガラスの落下	キャンプ・コートニーから普天間飛行場向け通常連絡のため飛行中の第164海兵隊中型ヘリ中隊所属のヘリコプターの風防ガラスが落下する事故が発生した。
15	昭和53年10月18日	普天間飛行場	宇堅	緊急着陸	普天間飛行場所属第36海兵航空群のCH-53輸送用ヘリコプターが尾翼の故障により宇宇堅の天願川下流海岸近くの空地に緊急着陸した。
16	昭和53年10月23日	普天間飛行場	宇堅	緊急着陸	普天間飛行場所属第36海兵航空群のヘリコプターが操縦桿の油圧ポンプ圧力低下のため緊急着陸した。
17	昭和53年10月23日	普天間飛行場	勝連沖合	部品落下	海上飛行中のCH-46ヘリコプターのドアが、勝連村字南風原の浜屋海岸の沖合約50m地点に落下する事故が発生。
18	昭和54年8月20日	陸軍貯油施設	昆布	油流出	陸軍貯油施設90番バルブボックスから油が流出した。
19	昭和55年4月25日	普天間飛行場	石川市	ヘリ不時着	沖縄電力石川発電所構内にエンジントラブルの為、普天間飛行場第1海兵航空団所属のヘリが不時着した。
20	昭和57年2月24日	嘉手納弾薬庫地区	石川市	空砲発砲	米兵数人が、サウキビ畑に入り、空砲を発砲。居合わせた市民を驚かせた。
21	昭和57年3月27日～4月5日	キャンプ・コートニー	天願	冠水被害	施設内排水路の機能低下により、鉄砲水となり農耕地に被害を与えた。

No.	発生年月日	関連施設名等	被害を受けた地域	事件事故の種類	概要
22	昭和57年6月29日	嘉手納飛行場	宇堅	燃料補助タンク落下	嘉手納基地所属のファントム機から落下したと見られる燃料補助タンク一基が具志川市宇堅海岸に漂着した。
23	昭和57年7月20日	普天間飛行場	志林川	ヘリ不時着	普天間基地所属UH-1Nヘリコプターが志林川の住宅地域に不時着した。
24	昭和59年5月～6月	陸軍貯油施設	昆布	汚水流出	施設内油水分離槽からJ燃料洗浄水を市内の天願川へ流出していたもので、BOD36400PPMと非常に汚染度の高いものであった。
25	昭和60年3月9日	キャンプ・ハンセン	石川市	農作物被害	大砲を牽引したトラック2台とジープ1台がサトウキビ畑とアマチャズル畑に乗り入れ、農作物に被害を与えた。
26	昭和61年6月9日	キャンプ・マクトリアス	川崎西原	刑務所脱走	キャンプ・マクトリアスの米軍刑務所から白人兵3人が脱走。後日、沖縄市と北中城村で発見、逮捕される。
27	昭和62年4月6日	普天間飛行場	平安座	ヘリ不時着	普天間飛行場第361重ヘリ中隊所属のCH-53ヘリコプターが訓練飛行中、計器異常のため与那城村平安座の西公園に不時着した。
28	昭和62年6月24日	普天間飛行場	伊計	ヘリ不時着	普天間飛行場所属のUH-1N指揮連絡用ヘリが飛行中、悪天候のため空地へ不時着した。
29	平成元年6月15日	キャンプ・フォスター	栄野比	農作物被害	イモ畑が、米軍車両によって踏み荒らされ、関係機関に何ら通報もいまま現場から逃走した。
30	平成元年6月	キャンプ・マクトリアス	川崎	油飛散	施設内建設工事に伴い、バイル打ち重機から油が飛散、周辺住民の車、サッシ、ガラス等に付着し被害を与えた。
31	平成元年9月18日	キャンプ・マクトリアス	川崎	赤土汚染	造成工事に伴う赤土が、雨水とともに施設に面した県道に多量に流出した。
32	平成元年12月25日	キャンプ・コートニー	宮里平良川	傷害事件	乗用車に乗った米人3人組がエアガンを発射、オートバイで走行中の男性が左目を負傷した。
33	平成2年3月21日	キャンプ・コートニー	天願	火災	米人の子ども達3名の火遊びにより、キビ畑の一部(約2㎡)が燃えるという小火が発生した。
34	平成2年4月	キャンプ・コートニー	川崎	交通事故	小学生が外人車両にはねられ負傷した。
35	平成2年11月	キャンプ・コートニー	川崎	交通事故	小学生が外人車両に引きずられたが、ランドセルがクッションになったため、ケガはなかった。
36	平成3年4月	キャンプ・コートニー	天願	盗難	施設内へ清明祭で墓参りのため立入った際に、骨壺と遺骨が盗まれているのを発見した。
37	平成3年11月23日	キャンプ・コートニー	川崎	交通事故	米婦人の運転する乗用車が、小学2年生をはね、負傷させた。
38	平成3年12月	キャンプ・マクトリアス	川崎	PCB汚染	キャンプ・マクトリアスで有毒物質PCBの流出事故が発生し、汚染土砂の除去作業に日本人従業員が従事していた。(平成4年3月5日の日米合同委員会で米側が公表)
39	平成3年	キャンプ・マクトリアス	川崎西原	投石事件	キャンプ・マクトリアス内より通行中の児童生徒や車両、民家への悪質な投石行為が行われた。
40	平成4年1月1日	キャンプ・コートニー	喜屋武	交通事故	米軍人の運転する乗用車が、道路左側に車を止めてタイヤの点検をしていた市民をはね、死亡させた。
41	平成4年1月24日	キャンプ瑞慶覧	みどり町	交通事故	米軍人の運転する普通貨物車が、道路横断中の市民をはね、死亡させた。
42	平成4年12月7日		石川市	交通事故	米軍人の運転する大型トラックが市民をはね、死亡させた。
43	平成5年12月	キャンプ・マクトリアス	西原	野球ボール飛来事件	キャンプ・マクトリアス内の野球場より飛来したと思われるボールが走行中の車両へ直撃する事故。
44	平成5年12月	キャンプ・マクトリアス	川崎	農作物被害	キャンプ・マクトリアス内の米少年らによって施設周辺畑内の農作物をもぎ取るなどの悪質な行為が行われた。
45	平成6年5月24日	キャンプ・マクトリアス		投石事件	キャンプ・マクトリアスから、走行中の車に少年が投石。幸い運転手にケガはなかった。
46	平成6年6月2日		津堅	施設外訓練	津堅島の提供施設外に米軍ヘリが2回にわたり直陸。農作物に被害を与える。
47	平成6年7月7日頃	ホワイト・ビーチ地区		強盗傷害事件	ホワイト・ビーチに寄港した米海軍艦船の乗員による事件(強盗・傷害)が相次いで発生した。
48	平成6年12月	キャンプ・コートニー	具志川市内	完全武装行車	完全武装による行車を市内地で行い、地域住民を不安に陥れた。

No.	発生年月日	関連施設名等	被害を受けた地域	事件事故の種類	概要
49	平成7年3月30日	キャンプ・フォスター	宇堅	軍用車両横転事故	基地隣接部内で米軍大型トレーラーが横転事故を起こした際に、市防災広報無線を破損させた。
50	平成7年7月24日	キャンプ・コートニー	天願 宇堅	油流出事故	米軍ハウジングエリア内の空調機器燃料タンクより燃料が漏れ、天願川へ流出した。
51	平成7年11月2日	キャンプ・コートニー	天願	油流出	キャンプ・コートニーの家族住宅地域で、タンクとボイラーを結ぶ3本のパイプから、天願川へ軽油が流出した。
52	平成8年4月30日	キャンプ瑞慶覧	平安名	無断立入	勝連町の与勝高校で、在沖米海兵隊所属の3人が無断で校内に立入、測量調査を行った。
53	平成8年5月		石川市	交通事故	米軍人の運転する普通乗用車が市民をはね、死亡させた。
54	平成8年5月27日	キャンプ・シュワブ	天願	飲酒運転 器物破損	米兵の悪質な飲酒運転・暴走行為でガードレールを破損し、天願川へ転落した。
55	平成8年7月3日 深夜	キャンプ・コートニー	宇堅 みどり町	ヘリ使用 夜間訓練	深夜、コートニー施設において、ヘリや空砲を使用した特殊訓練が行われ、地域住民を不安に陥れた。
56	平成8年8月28日	キャンプ・シールズ	与那城町西原	道路標識等破損	与那城町西原の県道で、米海軍キャンプ・シールズ所属の15トントラックが、対向車線を超えて歩道に乗り上げ、道路標識と歩道の植え込みをつぶした。
57	平成8年8月29日	ホワイト・ビーチ地区	与那城町西原	ボンネット等破損	与那城町西原の県道で、米軍の5トントラックが重さ1トンのコンテナを落下させ、信号待ちの軽乗用車のボンネットとエンジンの一部を押しつぶした。
58	平成8年9月11日		石川	強盗傷害事件	市内の飲食店に米兵2名が押し入り、女性経営者の顔を殴打するなどして傷害を負わせ、現金約8千円を強奪する事件が発生。
59	平成8年11月5日午後5時	キャンプ・マクトリアス	西原	投てき	施設内よりプラスチック製の表示板が民間地域へ投てきされる悪質な行為があった。(幸いケガ人なし)
60	平成9年5月8日	キャンプ・コートニー キャンプ・マクトリアス	天願	窃盗事件	米人少年が地域商店に侵入してウィスキーを盗む。(同区域は、米少年等が集まり、飲酒・喫煙等を行っており地域住民に不安を与えている。)
61	平成9年10月8日	キャンプ・マクトリアス	みどり町	器物破損	米少年少女による個人邸庭への不法侵入と器物破損(門扉)
62	平成9年11月	キャンプ・マクトリアス	川崎	投石事件	施設内より、石、ゴルフボールが投げられる等地域住民に不安を与えている。
63	平成9年12月25日	キャンプ・コートニー	みどり町	器物破損	米少年少女による万引き(市内靴店よりスポーツシューズが盗まれる。同店では年数回、同様な万引きがあるとのこと)
64	平成10年1月13日	キャンプ・コートニー キャンプ・マクトリアス		窃盗事件	市内施設在住の米少年によるタクシー強盗事件が北中城村で発生。
65	平成10年1月31日	キャンプ・コートニー	平良川	器物破損	米兵の飲酒運転による信号機の破損。
66	平成10年5月9日	キャンプ瑞慶覧	南風原	交通事故	勝連町南風原の県道10号線で、キャンプ・フォスター所属の海兵隊員運転の大型トラックが前にあった車を避けようとして急ブレーキをかけた際に、道路左側にあった雑貨店の日除けや自動販売機、ブロック塀に衝突し破損させた。けが人なし。
67	平成10年8月12日	ホワイト・ビーチ地区	平敷屋	爆発事故	ホワイト・ビーチ内で米海軍第7艦隊所属の駆逐艦(クッシング)で爆発事故が発生し、1人死亡、1人重体。艦内の蒸気パイプが破裂したことが原因。
68	平成11年1月26日	浮原島訓練場	浮原島	原野火災	浮原島訓練場で原野火災が発生。焼失面積は、約25,000㎡。信号弾による発火。なお、同訓練場での火災は復帰後はじめて。
69	平成11年4月12日	キャンプ・コートニー キャンプ・マクトリアス	川崎	飲酒、喫煙	米少年少女がたむろし、飲酒・喫煙等でドンチャン騒ぎを起こし、警察へ通報される。
70	平成11年4月13日	キャンプ・コートニー	天願	交通事故	米軍人が道路通行中の自転車に接触し、人身事故を起こす。
71	平成11年4月16日	キャンプ・コートニー	宇堅	行軍訓練	同地域内において、米軍による行軍訓練が行われているとの通報が住民よりあった。
72	平成11年4月19日	キャンプ・コートニー	基地内	器物破損	キャンプ・コートニー内の墓が、何者かによって荒らされ骨壺や頭部頭蓋骨が散乱。
73	平成11年4月21日	キャンプ・マクトリアス	川崎	投石事件	米少年少女らがフェンス沿いを通行中の市民に投石。
74	平成11年4月24日	キャンプ・マクトリアス	川崎	投石事件 器物破損	米少年少女による投石で、駐車中の車両がフロントガラスを割られるなどの被害を受ける。
75	平成11年4月26日	キャンプ・コートニー	天願	車両事故	外人車両による暴走行為、当て逃げ。
76	平成11年6月11日	キャンプ・コートニー キャンプ・マクトリアス	川崎	落書き	市内川崎において、駐車車両と住宅の塀への落書き。
77	平成11年7月23日	キャンプ・コートニー キャンプ・マクトリアス	みどり町	花火投げ込み	米少年が民間アパートへ花火を投げ込み逃走。
78	平成11年9月1日	キャンプ・コートニー	みどり町	飲酒酩酊	市内居酒屋でキャンプ・コートニー所属の兵隊が酩酊状態で他の客に迷惑をかけた。
79	平成11年12月9日	嘉手納弾薬庫地区	石川	不時着	嘉手納エアロクラブのセスナC-172型機が嘉手納飛行場から離陸後、エンジントラブルがあり、嘉手納弾薬庫地区内の道路に不時着した。

No.	発生年月日	関連施設名等	被害を受けた地域	事件事故の種類	概要
80	平成11年12月21日	普天間飛行場	浮原島	不時着	普天間基地所属のCH-46型ヘリが水力ポンプの故障のため、浮原島へ不時着した。
81	平成12年3月14日	キャンプ・コートニー キャンプ・マクトリアス	みどり町	落書き	米少年6名が安慶名城跡公園の駐車場擁壁、トイレ、倉庫など広範囲にわたり落書きをする。
82	平成12年8月29日	キャンプ・マクトリアス	川崎	投石事件 器物破損	複数の米少年が施設内より民家に投石、駐車中の車のサイドミラーを破損する。
83	平成12年12月28日	普天間飛行場	与那城町	不時着	普天間飛行場所属のCH-46ヘリが油圧系統のトラブルで与那城町内の公園建設予定地に不時着した。
84	平成13年 1月	キャンプ・マクトリアス	みどり町	器物破損	米少年3人組が公民館前のプランターの花を故意に伐採。
85	平成13年2月22日	キャンプ・コートニー	基地内	実弾射撃環境汚染	キャンプ・コートニー内で30年以上に渡って実弾を使ったクレー射撃を行っていたことが明らかになった。使用された鉛玉より、環境汚染されている可能性があり、米軍が調査。
86	平成13年3月19日	キャンプ・コートニー	基地内	発砲事件	キャンプ・コートニー内でビザ宅配中の日本人従業員に向け、モデルガンからと見られるプラスチック弾が発砲された。
87	平成13年4月2日、3日		栄野比	実弾、空砲投棄	市の資源ゴミ保管所でM16ライフルと見られる空砲500発余と実弾1発が見つかった
88	平成13年4月29日		石川	条例違反	石川市内に居住する海兵隊員の所有する飼い犬が小学生に傷を負わせ、石川警察署に逮捕された。
89	平成13年10月28日	ホワイト・ビーチ地区		銃暴発事故	ホワイト・ビーチ基地内で、海兵隊員が所持する銃が暴発した。
90	平成13年11月14日	キャンプ・マクトリアス	川崎	投石事件	基地内から小学生らしき子ども達が民家や市道に向けて拳大の石を100個近く投石。
91	平成14年2月19日	キャンプ・コートニー		器物破損	キャンプ・コートニーの所属の米兵2人が飲酒して帰宅途中、1人がゴミ箱を蹴り、もう1人が植木鉢を階下に落とすなどした。
92	平成14年4月12日		石川市石崎	器物損壊	外国人少年2名が、石川公園公衆便所内壁等にスプレーを吹付け、器物を損壊し逮捕された。
93	平成14年7月12日		栄野比	空砲投棄	市の資源ゴミ保管所で空砲72発が見つかった。
94	平成14年9月8日	キャンプ・コートニー		ひき逃げ	キャンプ・コートニー所属の米兵が飲酒運転をし、オートバイを運転していた男子高校生を引き現場から逃走する事件が北谷町で発生。頭蓋骨折などの重傷を負わせた。
95	平成14年11月2日	キャンプ・コートニー		婦女暴行未遂	キャンプ・コートニー所属の米兵が県内に住む外国籍の女性を乱暴したうえ、携帯電話を壊したとして逮捕される事件が起こる。
96	平成14年11月29日		石川	空砲発見	石川市内の沖縄自動車道の路肩に空砲と思われる銃弾193発が落ちていたのが発見される。
97	平成14年12月14日	キャンプ・マクトリアス		傷害事件	タクシーに乗車し、目的地について料金を支払った後、いきなり3名で運転手の顔面等を殴打し、傷害を負わせ逃走した。
98	平成15年1月30日		安慶名	交通事故	米軍のスクールバスが道路右側の歩道に乗り上げ、自転車に乗っていた男性をはね、写真店に突っ込んだ。
99	平成15年3月2日	キャンプ・コートニー		窃盗事件	キャンプ・コートニー所属の米兵が市内からタクシーに乗り、那覇市松尾の路上で停止させ、売上金2万円余を盗んだ疑い。
100	平成15年3月22日		石川	建造物損壊	午前2時15分頃、石川の飲食店内において、海兵隊1等軍曹が、意味不明な言動を発しながら、いきなり店舗の石膏ベニヤ壁を足蹴りし、建造物を損壊した。
101	平成15年4月9日	キャンプ・マクトリアス	みどり町	窃盗・暴行	基地内の高校に通う少年3人が、タクシーの乗務員を殴り頭部打撲の軽傷を負わしたほか、料金として支払ったお金を奪って逃走した。
102	平成15年5月23日	キャンプ・マクトリアス	西原	投石事件	基地内から小学生らしき子ども達が民家に向けて投石
103	平成15年9月24日	陸軍貯油施設	昆布	油漏れ事故	午後5時頃、金武湾第1タンク群において、航空機燃料の荷揚げ作業中送油管の一部から約30ガロン(約100リットル)の燃料漏れが発生した。
104	平成15年10月1日	ホワイト・ビーチ地区	南風原	器物破損	エセックス揚陸艦搭乗海軍兵2名が、走行中のタクシーを蹴飛ばし、ドアと窓ガラスを損壊。
105	平成16年11月5日		昆布	農作物被害	米人の運転する車両がフェンスとサトウキビをなぎ倒す事故が発生。
106	平成17年3月22日		みどり町	窃盗	午後3時頃、みどり町の店舗において、パスカードを所持していた者が靴1足を万引きしようとしたところ、発覚し、パスカードを調べている間に逃走した。
107	平成17年4月7日	海上自衛隊	中城湾	触底	午前7時55分頃、護衛官「まつゆき」が、中城湾港西埠頭の南東約630m付近で触底した。
108	平成17年8月7日		西原	接触事故	米軍人軍属の運転する車両が幼稚園児の乗る自転車と接触。幸いケガはなし。
109	平成17年10月4日	嘉手納基地	国道329号	衝突事故	午後10時25分頃、嘉手納基地内居住の高校生が、国道329号バイパスで、対向車に衝突し、現場から逃走した。
110	平成17年10月4日		みどり町	ヘリ騒音	第1回うるま市具志川まつりが開催されている上空を米軍普天間基地所属の攻撃ヘリAH1の旋回訓練が行われ、市民の生命・財産が危険にさらされた。
111	平成17年10月16日	普天間飛行場	みどり町	ヘリ騒音	第1回うるま市具志川まつりが開催されている上空を米軍普天間基地所属の攻撃ヘリAH1の旋回訓練が行われ、市民の生命・財産が危険にさらされた。

No.	発生年月日	関連施設名等	被害を受けた地域	事件事故の種類	概要
112	平成18年1月12日深夜	キャンプ・コートニー	昆布	深夜上陸 訓練	キャンプ・コートニー内において、深夜空砲を使用した夜間上陸訓練が実施され、地域住民を不安や恐怖に陥れた。
113	平成18年1月17日	嘉手納飛行場	伊計沖	墜落事故	嘉手納基地第44戦闘中隊所属のF-15イーグル戦闘機が海上訓練区域で訓練中に墜落し、市民に大きな不安と恐怖を与えた。
114	平成18年9月25日		昆布	衝突事故	午後5時10分頃、昆布の県道75号線で、在沖米海軍所属1等兵曹の運転する車が交差点を左折した際、同じく左折した大学生運転する二輪車に衝突した。
115	平成18年10月25日		浜比嘉島	強盗致傷	午後10時頃、浜比嘉島において、一般外国人が米軍人等（海軍軍人の夫及び海兵隊員）の2人組に刃物で首を切られて財布、携帯電話等を奪われた。
116	平成18年12月12日	ホワイト・ビーチ地区	平数屋	油漏れ事故	ホワイト・ビーチで油漏れがあり、岸壁付近の油は11日午後3時15分頃回収され、海面の油は拡散した。原因や漏出量は不明。
117	平成19年3月5日	キャンプ・マクトリアス	川崎	投石	キャンプ・マクトリアスから、県道224号線走行中の車に投石。幸い運転手にケガはなかったが、一歩間違えば重大事故になりかねない危険性があった。
118	平成19年5月11日	キャンプ・ハンセン	沖縄自動車道石川インター近く	トレーラー横転	午前10時40分頃、沖縄自動車道（那覇向け 屋嘉～石川インター間）で米軍トレーラーが横転、走行中の一般車両が事故を避けようとして中央分離帯に接触。車両に乗っていた夫婦に怪我はなく、トレーラー運転手が腕に擦り傷を負った。
119	平成19年5月16日	嘉手納基地	江洲	傷害致死	4月11日午前7時30分頃から午後0時34分頃までの間、空軍兵の夫が息子（8歳）に暴行を加え内蔵損傷により死亡させたとして、5月16日傷害致死容疑で逮捕された。
120	平成19年5月16日	嘉手納基地	勝連南風原	車両事故	午前10時15分頃、県道16号線で嘉手納基地所属空軍2等軍曹がボートを牽引して走行中、対向車線を走行中のうるま市在住の女性が運転する車両と接触。女性運転手が顔を負傷する。
121	平成19年5月21日		与那城総合公園近く	車両事故	午後5時半頃、与那城総合公園の県道沿いを外人車両が走行中、居眠り運転により歩道に乗り上げ、運動表周辺のフェンスを破損、植栽も倒された。
122	平成19年6月26日	航空自衛隊那覇基地	浮原島の南東約6km付近	部品落下	6月25日午後1時10分頃、浮原島の南東約6km付近で那覇救難隊が洋上救出訓練中に、救護用担架を洋上に投下したところ担架が海没し、紛失した。日没まで捜索したが、発見できなかった。
123	平成19年7月18日		田場	無断進入	午後4時50分頃、沖縄県立高専養護学校に米軍車両（装甲車）が無断で進入し、Uターンして出ていった。
124	平成19年7月26日	ホワイト・ビーチ地区	平数屋	油漏れ事故	午前7時30分頃、ホワイト・ビーチ海軍桟橋のパイプラインから燃料約10ガロン（約37リットル）が流出した。オイルフェンスの設置及び吸着マットにより10時15分頃に回収した。
125	平成19年8月6日		田場	無断進入	午後2時44分頃、沖縄県立前原高等学校に米軍車両が無断で進入、構内のロータリーを1周して出ていった。
126	平成19年11月14日	キャンプ・マクトリアス	川崎	投石	キャンプ・マクトリアスから投石。川崎自治会長が目撃。幸い運転手にケガはなかったが、一歩間違えば重大事故になりかねない危険性があった。
127	平成19年12月26日	嘉手納基地	南風原	車両事故	午前6時35分頃、南風原の与勝郵便局付近で、第18航空団所属の3等軍曹の運転する普通自家用乗用車が、民間車両と正面衝突した。両当事者は軽傷。
128	平成20年2月4日	ホワイト・ビーチ地区	平数屋	油漏れ事故	米陸軍第505補給大隊が停泊中の海上輸送部隊船に燃料を補給しようとしたところ同船舶周辺に油膜を発見、油は船舶用の油で、流出量は約1ガロン（約4リッター）。10時30分頃までに回収した。原因は調査中。
129	平成20年4月30日	キャンプ・ハンセン	赤道	車両事故	29日午前0時10分頃、米海軍所属の軍人が、赤道の県道で信号待ちをしていた日本人の運転する車に玉突き衝突した。相手が全治1週間程度の人身事故
130	平成20年6月7日		赤道	器物損壊	在日米海軍所属の1等水兵が、赤道の駐車場で自営業の男性（50）が所有する普通乗用車の車幅ライト（約5千円相当）を足で蹴って壊した。
131	平成20年8月11日	ホワイト・ビーチ地区	田場	死亡事故	午前6時50分頃、田場281番地1付近の市道でホワイト・ビーチ所属の米軍女性兵が運転する車両と男性会社員が運転するオートバイが衝突し、オートバイを運転していた男性会社員が、搬送先の病院で死亡する事故が発生した。
132	平成21年3月5日	嘉手納基地	浜比嘉島	緊急着陸	午後1時45分頃、海軍ヘリMH-602機が嘉手納基地に向かう途中、悪天候により、浜比嘉島の浜辺に予防着陸した。10分程度待機後、天候の改善が確認できたので嘉手納に向け飛び立った。
133	平成21年3月30日	ホワイト・ビーチ地区	田場	死亡事故	午前6時50分頃、田場281番地1付近の市道でホワイト・ビーチ所属の米軍女性兵が運転する車両と男性会社員が運転するオートバイが衝突し、オートバイを運転していた男性会社員が、搬送先の病院で死亡する事故が発生した。
134	平成21年6月11日	海上自衛隊（佐世保基地所属）	市内のホテル駐車場	強姦未遂事件	午前4時55分頃、市内のホテル駐車場でホワイト・ビーチに停泊中の長崎県佐世保基地所属護衛艦「あさゆき」の隊員が泥酔状態で強姦未遂事件をおこし、民間の人に取り押さえられる事件が発生した。
135	平成21年6月11日	津堅島訓練場	勝連津堅	訓練中の落下傘降下ミス	津堅島訓練水域で行われたパラシュート降下訓練中に米軍隊員の1人が津堅島の南の防波堤の近く（提供訓練水域外）に降下したと、津堅島の漁業者より連絡があった。同水域は、漁船の往来が多く、一歩間違えば大きな事故に繋がりがねない危険性があった。
136	平成21年7月14日	キャンプ・コートニー	天願	汚水流出	午後10時38分頃、沖縄防衛局業務課から電話通報があり、キャンプ・コートニーで午後4時頃汚水漏れがあったと米軍から通報があった。正確な量はわからないが、約42775ℓの汚水が流れた。後日、処理場の汚水を送るポンプ場の不具合で漏れた。
137	平成22年3月1日	キャンプ・マクトリアス	西原・あげな	マクトリアス 不審物	午後1時頃、うるま警察署地域課より、まちづくり課（基地対策課）へ通報がある。キャンプ・マクトリアス敷地内にスーツケースの不審物があるとの事。その後、半径500m圏内の住民や児童・生徒を非難させる。午後3時18分に米軍処理班が確認を行う。スーツケースの中身はヘアアイロンのみであった。

No.	発生日月	関連施設名等	被害を受けた地域	事件事故の種類	概要
138	平成22年3月11日		宮里	中部病院への米軍車両進入	午前8時10分頃中部病院(稲嶺部長)から県に電話があり、午前0時34分に中部病院の駐車場に米軍車両が進入し、ガードレール(パイプ製)や縁石(10cm四方)が破損した。午前9時55分、渉外官(梅原さん)より、G5は海兵隊の車両と認め、謝罪、補償を行うと連絡があった。
139	平成22年3月21日	キャンプ・コートニー	赤道	Yナンバーによる当て逃げ	午前8時10分頃、赤道交差点の近くで、停車中のタクシーにYナンバーがぶつかったが、現場より逃走した。その後市民よりの通報により、(空き地に前方部分の破損したYナンバーがいた)バトカーが駆けつけ、事情聴取し、任意同行を求め身柄を確保した。(飲酒運転の可能性あり)
140	平成22年6月29日	ホワイト・ビーチ	平敷屋	ヘリ不時着	午後3時10分頃、ホワイト・ビーチにヘリが不時着した。エンジントラブルだった。現場を確認したところ、事故のようには見えなかった。
141	平成23年2月25日	キャンプ・瑞慶覧	赤野	米軍車両事故	午前9時15分赤野中央橋近くヌーリ川沿いで、米軍車両がフェンスを破壊して立ち往生していると連絡が入る。現場確認後、補償するとの事。
142	平成23年4月13日	キャンプ・ハンセン	石川	米軍車両オイル漏れ	午前10時前頃、米軍車両からエンジンオイルが漏れた。漏れたオイルに吸水性の砂をまいて処理あつた。原因は整備不良とのこと。オイルは8ℓ、15メートルにわたって漏れ、その後車両はレッカーによって牽引された。
143	平成23年4月19日		兼箇段	闘犬逃走	うるま市兼箇段の米軍基地住宅から闘犬種のアメリカー・ビットブル・テリアが逃走。同日捕獲、被害はなかった。
144	平成23年5月28日	ホワイト・ビーチ	平敷屋	気象レーダー破損・飛散	台風2号により、米軍の「次世代気象レーダー」が破損、飛散し、地域住宅、車両等を破損させた。被害が16世帯・18件に及び、防衛省の対応(賠償金など)の遅さが問題視された。
145	平成23年7月1日	キャンプ・シュワブ	昆布	米軍人家族による車両事故	午前3時35分頃、キャンプ・シュワブ所属の海兵隊の家族(息子・18歳)の運転する車両がうるま市在住の62歳女性の運転する車両と正面衝突した。幸い死亡者はでなかったものの、海兵隊の息子の呼気から0.23mgのアルコールが検出された。
146	平成23年8月24日	キャンプ・コートニー	石川 東恩納	米軍車両との接触事故	県道75号線的美原乗馬クラブ前で、キャンプ・コートニー海兵隊所属の軍人車両とバイクが接触事故を起こした。
147	平成23年11月26日	キャンプ・ハンセン	石川	飲酒運転・スピード違反	午前1時33分頃、キャンプ・ハンセン所属海兵隊員が石川2509-2付近にて、飲酒及びスピード違反で石川警察署に緊急逮捕された。
148	平成23年12月18日	キャンプ・ハンセン	赤道	酒気帯び運転	午前4時20分頃、うるま市赤道の県道75号線で客待ちの為、停車中のタクシーに衝突した普通車車両を逮捕したところ、呼気から0.15mgのアルコールが検出され、現行犯逮捕となった。
149	平成24年4月8日	嘉手納基地	宮里	酒気帯び運転	午前2時30分頃、うるま市宮里の県道16号線で乗客を降ろす為に停車していたタクシーに追突する事故を起こした。事故を起こした車両の運転手は嘉手納基地所属の1等車曹で呼気からは0.15mgのアルコールが検出された。
150	平成24年6月14日		屋慶名	煙のフェンス破損	加害者は午前10時30分頃にホワイト・ビーチに行く為に現場を走行中、雨天によるスリップでフェンスを破損し、煙に進入した。煙の所有者は補償に対して理解している。
151	平成24年6月18日		赤野	ゴミの不法投棄	午前10時41分頃に連絡があり、外人の生活のゴミが不法投棄されているとの事。ゴミを確認後MYハウジングマネジャーの連絡をとり、ゴミを処理・外人への指導をお願いした。
152	平成24年7月19日	航空自衛隊那覇基地		カバー部品落下事件	午後13時～午後15時30分の間に那覇基地～厚原島～那覇基地間にヘリの部品が落下した可能性があるとの連絡があった。
153	平成24年10月15日	ホワイト・ビーチ		米軍機材流出	午後7時頃、ホワイト・ビーチ沖で訓練中、改良型浮桟橋のランプ部分と内部区画が流された。その後米軍と海保で捜索したが発見されず、一時断念しているところ、29日に宮古島沖で発見された。
154	平成24年11月22日	キャンプ・コートニー	天願	海兵隊による建造物侵入事件	午後4時20分頃、軍用地地主会事務局に若い外人が侵入。地主会の事務所に排水パイプを使ってよじ登ろうとしたため警察に逮捕された。
155	平成25年2月10日	嘉手納基地所属	宮里	酒気帯び運転	午後11時35分頃、酒気帯びた状態で普通乗用車を運転し、玉突き事故を起こした。
156	平成25年5月28日	キャンプ・シュワブ	石川	酒気帯び運転	午前1時25分頃、バトカーの職務質問を受け、アルコール検査を受けた後、酒気帯び運転で現行犯逮捕された。
157	平成25年11月1日	嘉手納基地所属		ヘリの部品落下	午後15時38分～18時の間に、嘉手納基地～うるま市上空を飛行したHH-60の機体に搭載されたカメラが落下したと思われるとの報告があった。
158	平成26年3月5日	海兵遠征部隊所属		ヘリの着艦事故	AH-1Wスーパーコブラ1機が、沖縄の沖合で通常の夜間資格取得飛行を実施していた。米海軍艦船に複数回着陸を実施した後、右側のスキッド及びランディングギアのクロス・チューブが破損した。
159	平成26年4月24日	嘉手納基地所属	うるま市	部品落下	HH-60ヘリコプターがうるま市上空を夜間飛行している際、海拔約800フィート上空で、スクープと呼ばれる透明プラスチック製の通風孔(重さ36グラム)が窓から落下した。
160	平成26年5月5日	ホワイト・ビーチ	平敷屋	汚水流出	ホワイトビーチ海軍施設の生活廃水処理施設から、大雨の為に汚水沈殿タンクから排水管へ氾濫した。約600ガロン(約2200ℓ)の雨水と低濃度の生活廃水が流出した。
161	平成26年5月15日	嘉手納基地所属		部品落下	MH60ヘリから懐中電灯を落とした可能性がある。人身被害等などは今の所ない。又、地上における運用中、懐中電灯をフライトスーツから落とした可能性があったが、翌日、発見し地上にいた際に落下したとの連絡があった。
162	平成26年9月16日	キャンプ・コートニー	天願	オスプレイ	キャンプ・コートニーにオスプレイが飛来、連絡等は受けてなかったが課員が目視にて確認。
163	平成26年9月18日	普天間飛行場		部品落下	普天間飛行場を離陸したAH-1Wスーパーコブラが通常飛行訓練を実施中に直径3インチ(7.6cm)の小さな金属製のリングと長さ約2インチ(5.1cm)の取り付けボルトを機体から落下させた。
164	平成26年12月5日	在沖米海軍艦隊活動司令部	川田	酒気帯び運転	川田の県道33号線で、酒気を帯びた状態で車を運転したとして、在沖米海軍艦隊活動司令部所属の2等兵曹が現行犯逮捕された。

No.	発生年月日	関連施設名等	被害を受けた地域	事件事故の種類	概要
165	平成27年1月22日	ホワイトビーチ	津堅	座礁事故	午前11時40分頃、米海軍所有の大型貨物船が、うるま市津堅の南約5.3キロ付近の浅瀬に乗り上げた。
166	平成27年1月27日	ホワイトビーチ	ホワイトビーチ周辺水域	雑排水投機	米海軍の強襲揚陸艦「ボノム・リジャール」がホワイトビーチに接岸中、約15万リットルの雑排水を海に投機していた。
167	平成27年2月7日	ホワイトビーチ所属	宜野湾市	酒気帯び運転	午前5時55分頃、宜野湾市普天間の国道330号線で米軍ホワイトビーチ所属の2等兵が、酒気を帯びた状態で車両を運転し、物損事故を起こした。
168	平成27年3月18日	海兵隊	昆布	物損事故	午前6時55分頃、昆布の住宅地で米軍の大型車両が民家のブロック塀に衝突、倒壊させた。
169	平成27年6月14日	ホワイトビーチ所属	那覇市	酒気帯び運転	午前4時ごろ、那覇市牧志の市道で酒気を帯びて軽自動車を運転したとして、米海軍ホワイトビーチ所属の2等兵を現行犯逮捕した。
170	平成27年8月12日	在沖米海軍所属	伊計島沖合水域	ヘリ墜落事故	午後1時46分ごろ、伊計島の南東約14キロの沖合で米海軍所属のH-60ヘリコプターが米海軍艦船への着艦に失敗、2名の陸上自衛官を含む7名が負傷する墜落事故が発生した。
171	平成27年8月20日	津堅島水域	津堅島訓練水域	無通告パラシュート訓練	午前11時ごろ、うるま市の津堅島訓練場水域で、米軍嘉手納基地所属の353特殊作戦群が、事前通報なしに、パラシュート降下訓練を実施した。
172	平成27年8月30日	海兵隊	太田	物損事故	海兵隊車両が、うるま市消防本部で、ブレーキの不具合により、物損事故を起こした。
173	平成27年10月14日	嘉手納基地所属	沖縄市	車両事故	14日午後9時39分ごろ、沖縄市上地の県道85号線で、米嘉手納基地所属の米空軍上等兵の男性の車が対向車線に進入し、うるま市高江洲の女性が運転する車に衝突した。
174	平成28年1月31日	ホワイトビーチ	浦添市	酒気帯び運転	午前4時31分ごろ、浦添市牧港の国道58号線で酒気を帯びた状態で車を運転し、電柱に衝突する物損事故を起こしたとして、米軍ホワイトビーチ所属の米海軍3等兵が逮捕された。
175	平成28年4月28日	米国軍属	太田	女性死体遺棄事件	米軍属の男性が、うるま市会社員の女性に暴行し殺害。遺体をスーツケースに隠し恩納村の雑木林に遺棄した。
176	平成28年5月1日	ホワイトビーチ	那覇市	銃刀法違反	午前10時ごろ、那覇空港国内線の手荷物検査で、拳銃用の実弾を数発持っていたとして、ホワイトビーチ所属の2等兵が現行犯逮捕された。
177	平成28年8月30日	キャンプ・コートニー所属	読谷村	住居侵入未遂	午後5時20分ごろ、海兵隊キャンプ・コートニー所属の軍曹が、読谷村大木のアパートの1室に侵入しようとしたとして、逮捕された。
178	平成28年9月4日	キャンプ・フォスター所属	勝連南風原	当て逃げ	午後6時3分ごろ、米軍米海兵隊伍長がうるま市勝連南風原の県道で停車中だった普通乗用車に後方から衝突し、破損させ逃走、その後ブロック塀に衝突事故を起こした。
179	平成28年10月16日	ホワイトビーチ所属	北谷町	酒気帯び運転	北谷町宮城の町道で、酒気を帯びた状態で原付バイクを運転したとして、ホワイトビーチ所属の2等兵を逮捕した。
180	平成28年11月12日	キャンプ・コートニー所属	那覇市	酒気帯び運転	午前3時14分、那覇市松山の市道で酒気帯び運転したとして、キャンプ・コートニー所属の米海兵隊伍長の男を現行犯逮捕した。
181	平成29年1月12日	空軍	津堅島訓練水域	無通告パラシュート訓練	午前11時ごろ、うるま市の津堅島訓練場水域で、米軍嘉手納基地所属のMC130特殊作戦機が、事前通報なしに、パラシュート降下訓練を実施した。
182	平成29年1月20日	普天間基地所属	伊計島	ヘリ不時着	午後7時30分頃、米軍普天間飛行場所属のAH1Z攻撃ヘリコプターがうるま市伊計島の農道に不時着した。
183	平成29年2月3日	キャンプ・マクトリアス	川崎	強盗事件	午前5時25分頃、川崎の惣菜店の調理場に外国人風の男がおもちゃの拳銃を持って押し入り現金1万1千円を奪って逃走した。
184	平成29年3月30日	キャンプ・コートニー所属	那覇空港	銃刀法違反	午前12時8分那覇空港国内旅客ターミナル荷物検査場で、法定の除外事由がないのに、けん銃実包13個を所持したとして逮捕された。
185	平成29年6月28日	キャンプ・コートニー所属	石川の公園駐車場	強盗事件	車のナンバープレートを盗んだとして窃盗の疑いで在沖米海兵隊所属三等軍曹を本日16時32分緊急逮捕した。
186	平成29年8月7日	米国軍属	うるま市在	傷害事件	午後6時30分、同居する30代の女性に暴力をふるい、首に皮下出血などのけがを負わせたとして、米軍属の男を傷害容疑で逮捕した。
187	平成30年1月6日		伊計島	ヘリ不時着	午後4時頃、普天間飛行場所属のVH-1Yヘリコプターが伊計島の海岸に不時着した。
188	平成30年11月8日	米海軍属	石川	麻薬及び向精神薬取締法違反	11月7日午後11時5分頃、自宅において、麻薬を含有する紙片を所持したとして緊急逮捕された。
189	平成30年11月8日	米海軍属	石川	麻薬及び向精神薬取締法違反	11月7日午後11時5分頃、自宅において、麻薬を含有する紙片を所持したとして緊急逮捕された。
190	平成31年1月29日	キャンプ・ハンセン所属	石川	器物損壊	午前6時50分頃、うるま市石川在のアパートの木製の柵2枚を足蹴りして損壊したとして、同日午前7時15分器物損壊の容疑現行犯逮捕された。
191	令和2年11月9日	キャンプ・ハンセン所属	石川	強盗事件	乗車していたタクシー運転手の首を絞めて現金1万円とタクシー1台を奪ったとして海兵隊上等兵が強盗容疑で逮捕された。
192	令和3年6月3日	海兵隊	津堅島	ヘリ不時着	米海兵隊UH-1Yヘリコプターが津堅島中央付近の畑へ不時着した。
193	令和3年6月10日	米陸軍	金武湾タンクファーム	汚水流出	うるま市昆布の陸軍貯油施設からPFOSを含む汚染水が流出した。